

たぐみ

T A K U M I

No.013

平成15年1月●新春号
信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

「スリースター制度」40名に認定書を授与 平成14年度総会開催 宮本副会長が会長に、藤森会長は顧問に就任

平成14年6月21日、長野市・メルパルクNAGANOにおいて、信州名匠会通常総会が開催された。当日会場には、4月の定例研修会で参加者が制作した陶芸作品を展示。総会では、本年度事業報告と会計・監査報告、平成14年度事業計画・事業予算の決定、およびスリースター認定者の認定証授与を行った。続く講演会では、前会長の藤森照信顧問が「素人が創った建物のおもしろさー世界と日本の例からー」と題して、建築の素人が作った建物を紹介。「建築の原型は素人の作ったものの中にこそ表れている」と語った。

恒例の親睦ゴルフ大会は8月10日、信濃ゴルフ倶楽部で開催。夏空のもと11名が参加して真剣に腕を競いながら、会員相互で和やかな談笑のひとときを楽しんだ。



議長の内八雄副会長は「名匠会は、不況の今こそ元気を出して、磨きあげた腕を振るってほしい」と語り、議事を進めた



宮本新会長は自身の会長就任と、藤森会長の顧問着任を報告



吉田義男相談役（新建築社会長・吉岡文庫育英会理事長）は「名匠会を日本の各地で創設し、全国的な広がりしていきたい」とあいさつ



■親睦ゴルフ大会順位（敬称略）

- 優勝 西宮登喜男／(株)綿内瓦工業
町田幸一／(株)町田電気商会
- 準優勝 左右田昭道／(株)インテック左右田
水沢仁亮／(株)二見屋
- 3位 五明良平／(株)五明
- 4位 太田光雄／(株)岩野商会

ほかの参加者●水沢仁亮／(株)二見屋、坂田守夫／坂田工業(株)、吉田雅彦／(有)スタジオスペースツ、竹内公夫／(株)ダスキンターミニックスビホーム、宮下恒夫／サンコー特機(株)、西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所、岸本貴志／(株)本久

平成14年度通常総会 記念講演会

素人が作った建物のおもしろさ

世界と日本の例から 信州名匠会 藤森照信顧問(東京大学教授)

平成14年度通常総会当日に開催された記念講演会で藤森照信顧問は、素人の建築から学ぶ発想について語った。

大胆な発想の素人建築

素人が建築をつくるのは歴史的に見てもそう不思議なことではない。日本でも江戸時代まではそういうことがよくあったし、世界中に例がある。たとえば、素人が巨大な石をくり抜いた住宅がある。床、壁、天井、どこを見ても目地がなく、すべて同じ材料できている。石という素材を全面に出すアイデアは参考になる。

世界的に有名な素人建築は2つある。ひとつは「シュバルの理想宮」、もうひとつはロサンゼルス「ワッツタワー」というもの。



講演する藤森顧問

「シュバルの理想宮」は今から100年ほど前、南フランスで郵便配達をしていたシュバルという人がつくった。石を拾っては積み上げ、セメントやモルタルで固めたもので、工期は約30年。今では、なんにもない

村の観光名所になっている。王宮や教会など世界各地のさまざまな建築の要素を含んでおり、造形が細かい。これは素人の建築がプロに衝撃を与えた最初の例。

ロサンゼルス「ワッツ地区」にある「ワッツタワー」は塔がいくつも立っている形状の施設で、一見奇妙だが全体のバランスが取れている。作者のサイモン・ロディアはもともと鉱山の労働者で、木や鉄、コンクリートをよく知っていたという。そのため完全な素人とは少し違うかもしれないが、このワッツタワーは20世紀を代表する素人建築のひとつになった。

全体像の有る無しが分かれ目

精神に異常をきたした人たちの建築というのがある。これはわれわれの想像を絶するもの。正常な人の作品とは決定的に違っている。

アメリカのある精神異常の女性は、ピンを集めて家をつくった。彼女は同じ色のピンを並べて壁をつくり、屋根をつけた。最後にはピンに限らず、似た形のものを並べては満足していたようだ。

ワッサーという芸術家はストリートキングのはしりだが、発病してから建築を始めたらしい。ただし手がけるのは構造ではなく、すでにある建物にもものを張り付けるなどのデ

ザイン的な仕事。これとワッツタワーとの差はどこにあるのか？

それは全体像がないということ。ワッサーもピンを集めた女性も、範囲を決められたから造形をやめたに過ぎず、



南フランスにあるシュバルの理想宮。村から出たことのない郵便配達夫が絵はがきなどを参考に、石を積み上げて作った建築はプロに衝撃を与えた

そうでなければ果てしない「部分」の連続を永遠に作り続けただろう。全体像を欠いた「部分」しかない世界は恐怖そのものだ。

病んだ人たちと非常に似た建築を作るのがガウディだ。全体の形はきわめて明解でも、内部はぐちゃぐちゃしている。しかしそれは全体の形の効果を高めるために、うまく構成されたものなのだ。そのガウディが絶対にぐちゃぐちゃさせない場所がある。階段である。

建築の中で、階段が一番不安定なところだということを知っているのだ。一見めっちゃくちゃだが、危険性のあるところは丁寧にカバーしている。全体像をコントロールする確かさは精神を病んだ人の建築には見られない。

発想の行き詰まりを解き放つ

建築の原型は素人の作るものの中に一番よく表れているのではないだろうか。

現在は建築の技術に関しても工業化、既製品化が進み、建築物の表情もみんな同じ。性能的には良くても、ああいものが街を覆い尽くすのはどうもガマンできない。

工業化と個別の技術との矛盾など、現代ではいろいろな問題がある。そうした問題を考えて行き詰まったとき、素人の作ったものから学んだり、刺激を受けることがある。

そのいわば原型が、これからの新しい建築に示唆するものがあるのではないかと考えるのである。

(まとめ：堀内久美子)



アントニオ・ガウディ(1852-1926)のサグラダ・ファミリア聖堂(1883~)

■6ツ星・5ツ星 各2名の認定者誕生

～スリースター制度新規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力を互いに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設された。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与える。発足から3年を経て、6ツ星認定者2名をはじめ1ツ星までの新規認定者40名が誕生し、通常総会において認定証を授与された。認定者の総計は54名。貴重な研鑽の場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加にますます期待が高まる。

◆「スリースター制度」平成13年度認定書授与者

(平成14年6月現在、五十音順、敬称略)

☆☆☆☆☆☆認定者(6ツ星2名)

西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所
坂田守夫／坂田工業(株)

☆☆☆☆☆☆認定者(5ツ星2名)

五明良平／(株)五明
堀誠／堀建築設計事務所

☆☆☆☆認定者(4ツ星3名)

西宮登喜男／(有)綿内瓦工業
宮下恒夫／サンコー特機(株)
水沢仁亮／(株)二見屋

☆☆☆☆認定者(3ツ星10名)

山本耕平／長野サウナ販売(株)
小川明／(株)宮本忠長建築設計事務所
古川稚佳子／(株)宮本忠長建築設計事務所

島田安雄／島田工務店

岡澤元彰／(株)本久

大井芳也／(株)山二

伊藤章／(有)アキ・プランニング

高梨廣男／(有)高梨建築

中村光敬／(有)中村木工所

宮本忠長／(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆認定者(二ツ星17名)

田幸康信／(株)電弘

樋口豊／(株)ライフエンジニアリング

町田幸一／(株)町田電気商会

池内信二／(株)山翠舎

増田幸雄／匠建設(株)

宮川裕行／三ツ友建築企画

鈴木隆／ルームデザインハウス

宮澤郁夫／宮澤建築

岩井英一／岩井工業(株)

倉橋英太郎／(株)倉橋英太郎建築設計事務所

溝端利一／MEデザイン室

竹内公夫／(株)ダスキーターミニックスビホーム

関克弘／坂田工業(株)

左右田昭道／(株)インテック左右田

渡辺昌祺／渡辺硝子建材(株)

岸本貴志／(株)本久

久保敏幸／(株)さつき苑

☆認定者(一ツ星20名)

塚田廣実／塚田住建

山中袈裟嗣／山中桐箱店

荒井徹／(有)デザインテック

五十嵐厚生／(株)井内工務店

坂戸雄世／サカト産業

勝間康博／(株)INAX長野営業所

平沢真司／平沢塗装店

矢島建二／(株)矢島工務店

鎌倉良収／(株)鎌倉材木店

松下重雄／(有)みすゞ設計

山崎邦男／山崎工務店

山田一忠／インテリア販売ヤマダ

藤森吉三／(株)藤森鉄平石

柳沢邦夫／(有)柳沢木工所

井内八雄／(株)井内工務店

宮崎三雄／(有)アルファ測量設計

堀内久美子／(株)新建新聞社

高波和由／キャストク(株)

大庭修／(株)トライアン

関野和人／(株)アーキクラブト

●研修会で制作の陶芸作品を展示

通常総会会場では、4月27日の定例研修会にて、雪しろ窯の主人村越久子さんの指導で会員が制作した陶芸作品を展示し、出席者が思い思いに鑑賞を楽しんだ。今年も傑作には次の賞が贈られた(敬称略)。

- 藤森会長賞 町田裕子／(株)町田電気商会
- 村越賞 左右田昭道／(株)インテック左右田
- 馬場賞 堀内久美子／(株)新建新聞社
- 吉田賞 五明京子／(株)五明
- 宮本副会長賞 坂田守夫／坂田工業(株)
- 降旗副会長賞 山本耕平／長野サウナ販売(株)
- 井内副会長賞 西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所



平成14年度 信州名匠会 年間スケジュール

平成14年

- 6月15日(土) 会報「たくみ」12発行
- 6月21日(金) 通常総会・藤森顧問講演会・懇親会
- 7月24日(水) 第1回研修会「タイル建材あれこれ」
- 8月10日(土) 親睦ゴルフ大会
- 8月28日(水) 第2回研修会「木造住宅の構造を考える」
- 9月25日(水) 第3回研修会「空調設備について」
- 10月23日(水) 第4回研修会「“音”対応について」
- 11月9日～10日(土・日) 研修旅行「会津、喜多方」
- 12月18日(水) 第5回研修会「日本刀の魅力について」
- 12月25日(水) 忘年会(三井ガーデンホテル長野)

平成15年

- 1月14日(火) 会報「たくみ」13発行
- 1月30日(木) 新年会(三井ガーデンホテル長野)
- 2月26日(水) 第6回研修会「曳屋工事について」
- 3月26日(水) 第7回研修会「スタンドグラスについて」
- 4月26日(土) 第8回研修会「陶芸教室」
- 5月28日(水) 第9回研修会「集成材について」
- 6月13日(金) 会報「たくみ」14発行
- 6月25日(水) 平成15年度通常総会

*研修会 場所：(株)宮本忠長建築設計事務所・緑艸舎
時間：午後18:30～20:30

*研修会内容・場所・日時については変更もあります。

吉岡文庫育英会より本年度も研究助成金20万円

定例総会の席上、新建築社・吉田義男会長(信州名匠会顧問)より、(財)吉岡文庫育英会の研究助成金として20万円が信州名匠会に給付されました。同育英会からの給付は、初回の30万円と前々年・前年の各20万円に続く4回目で、総額90万円に。名匠会では育英会と助成金の趣旨が未永く反映されるような活用方法を検討しております。心より感謝申し上げます。

平成13年度 信州名匠会 事業報告

平成13年

6月28日(水)第9回通常総会・藤森会長講演会・懇親会
 6月29日(金)親睦ゴルフ大会(信濃ゴルフ倶楽部、参加者14名)
 7月24日(水)第1回研修会「防災設備について」参加者14名
 8月22日(水)第2回研修会「西岡棟梁の仕事について」参加者20名
 9月28日(金)第3回研修会「大工仕事について」参加者41名
 10月27日(土)第4回研修会「松本市美術館見学会」参加者15名
 11月12～13日(土・日)研修旅行
 「日光・宇都宮の建築見学会」参加者27名
 12月4日(火)第5回研修会
 「森と住まいと匠の技フォーラム」参加者26名
 12月25日(火)忘年会(三井ガーデンホテル長野)参加者23名

平成14年

1月15日(月)会報「たくみ」11発行
 1月29日(火)新年会(三井ガーデンホテル長野)参加者23名
 2月28日(水)第6回研修会「石のはなし」参加者25名
 3月27日(木)第7回研修会「桐箱のはなし」参加者24名
 4月27日(土)第8回研修会「陶芸教室」参加者27名
 5月30日(木)第9回研修会
 「デジタルカメラの様々な使い方について」参加者29名
 6月15日(土)会報「たくみ」12発行

定例研修会●Report

(平成14年5月～平成14年10月)

毎月1回開催する定例研修会。スリースター制度発足の効果もあり、会にはより多くの会員が参加して、活発な質疑や意見交換が行われている。以下にその要旨を紹介する。

平成13年度第9回研修会 「デジタルカメラの様々な使い方について」

5月30日(木)／講師：(株)ミヤガワ 田口隆氏
・八重澤悦男氏／参加者29名

用途に応じて多種多様に選べるデジカメ



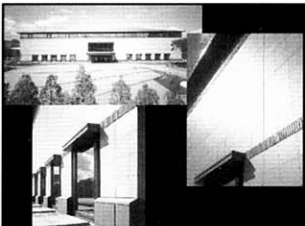
田口氏はデジタルカメラの魅力として、その場で画像を確認できること、現像が必要ないこと、データをパソコンなどに保存して印刷ができ、電子メールを通じて送受信ができることなどの特長を紹介。選ぶ基準として、スナップ撮影用なのか現場でのハードな使用なのか、電子メールに添付して送るだけなのか、A3用紙に大きくプリントしたいのかなど、用途に合わせることを助言。「ご連絡、ご来店いただければより詳しくご助言いたします。無料のデジカメ教室も開催しております。お気軽にどうぞ」とのこと。

写真ミヤガワ南高田店は電話026-215-1010。

平成14年度第1回研修会 「タイル建材あれこれ」

7月24日(水)／コーディネーター：(株)INAX長野営業所 勝間康博(信州名匠会賛助会員)
／講師：(株)INAX 後藤泰男氏／参加者22名

求められる工芸品の美と建材としての精度



現代の意匠

「タイル」の語源はラテン語の「TEGULA」。「囲う、覆う」という意味だが、転じて陶磁器でできた建築仕上げ材を指すようになった。天然原料を焼くシンプルな工程によって生

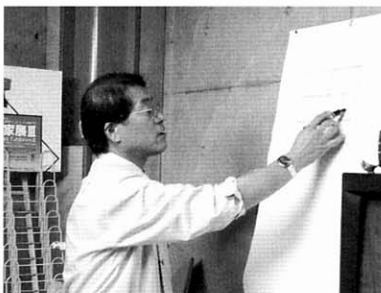
まれるもの。タイルの発祥は紀元前2650年のエジプト。ピラミッドの地下室にある。日本の代表的な焼き物の建材である瓦もタイル。城壁や倉庫の壁に瓦を貼り付けた「海鼠(なまこ)壁」が有名だ。タイルを貼り付けることで、建築内部の耐久性も向上する。関東大震災で崩壊しなかった帝国ホテルが、タイルと大谷石を外壁に貼り付けてあったことから、タイルは意匠と耐震性を兼ね備えたものとして、外壁に貼り付けることが広まった。

最近では瓦調を再現したものや、ハイテクテラコッタという大型の湿式タイルなどが開発されている。耐久性は5000年ともいわれている。タイルメーカーには、工芸品としての表の顔と、建材としての精度の両方が求められる。

第2回研修会 「木造住宅の構造を考える」

8月28日(水)
講師：(株)宮本忠長建築設計事務所
構造担当 篠田諭氏／参加者29名

余裕とバランス+金物で十分な強度を確保



建築基準法改正のポイントや、木造住宅の耐震性について勉強会を行った。

篠田氏は1995年の阪神淡路大震災において、木造住宅の12～28%(神戸市)が

全壊したことを指摘。建築学会がまとめた被害原因として、①すじかいの不足②接合部の不良③外壁の下地への接合不良④壁量の不足⑤基礎、土台の不良など数項目をあげた。老朽化による原因を除けば、耐震壁の適正な配置がされておらず、バランスが悪いこと、耐震壁(すじかい)の不足、接合部に金物を使用していないなどの不良が原因になっているという。

建築基準法や品確法では金物の使用を定めており、在来工法を進める大工や建築士の間では建物の耐久性などの問題から難色を示す声もある。この点について、篠田氏は「金物を使うのは今に始まったことではない。無理な設計をすればどんなに大きな材料を使ってもたわみやねじれが生じる。構造計算を含めた検討を行い、余裕をもった計画とバランスの良い設計によって、金物はぐっと減らすことができる」と話した。

第3回研修会 「日本刀の魅力について」

9月25日(水)／坂城町「鉄の展示館」会議室(設計監理:宮本忠長建築設計事務所)／講師:宮入恵氏(刀匠、信州名匠会員)／参加者35名

美しさと信仰の対象～鉄の塊を鍛え、練り上げる



日本刀の魅力を語る宮入氏と会員

刀には「3要素」がある。武器としての実用性と美しさ(芸術性)、そして心と密接に結びついた「宗教性」だ。現代では実用性はほとんどなくなったが、刀である以上切れないということはない。切れ味が注目されがちだが、

美しさや信仰の対象としての要素もある。日本刀の極意は「折れず曲がらずよく切れる」ことだといわれる。

刀というのは今も昔も受注生産。1人1人にあわせてつくった。ひとつの刀ができるまでに、刀鍛冶(かたなかじ)、砥(と)ぎ師、白金(しろがね)師、鞘(さや)師のほか、何人もの職人の手を経る。

世間で「名刀」といわれる刀の由来はまず「伝来」。誰から誰にどのように伝わってきたのかといういわば血すじのはっきりしているもの、そして刃がそれほど減っていない「健全性」のあるものが「名刀」と呼ばれる。しかし刀匠が見るのは刀の「顔」。表情を見ればどのような刀なのかがわかるという。

宮入恵(小左衛門行平)氏＝宮入一門会会長。父親は無形文化財保持者(人間国宝)の故・宮入行平氏。

第4回研修会 「住環境問題への取り組みについて」

10月23日(水)／コーディネイト:(株)本久 岸本貴志(事務局・賛助会員)

講師:クリオン(株) 小林敏彦氏・津守義寿氏

「吸音」と「遮音」で防音効果高める



小林敏彦氏

「防音」対策を効果的に進めるためには「遮音」と「吸音」を効果的に組み合わせることがポイントだ。「吸音」とは音を反射させないことで、吸音材を使うと音は材を通り抜けて反射音が小さくなる。「遮音」は音をさえぎって透過音を小さくすること。この相反する2つの性質をうまく組み合わせることで「防音」がうまくいく。

効果的な防音を行うには、吸音材と遮音材を併用するといいい。遮音材を外側に、吸音材を内部に張ることで反響が押さえられて室内が静かになり、結果として外部に漏れる音も小さくなる。壁厚を必要以上に厚くすることはない。



津守義寿氏

このほか、調湿、シックハウス症候群について聞き、質疑を行った。

職人の技能生かすまちづくり

「街並み修景プロジェクト」発足



「街並み修景プロジェクト」とマーク

信州名匠会は、独自の発想でまちづくりに取り組む「街並み修景プロジェクト」を10月22日付けで発足させた。メンバーは坂田守夫氏・西澤嘉雄氏・上別府志郎氏・吉田雅彦氏の信州名匠会の会員4名で進め、事務局は坂城町に設置する。

会員の技能を生かして建築や道路、公園等の環境整備を進めるほか、散歩道路や小路の設計監理、モニュメント製作、サイン設計の製作などに関わっていく。手始めに坂城町のまちづくりに関わり、将来的には全県、全国規模で活動を展開していく。プロジェクトの財源を確保するため、特産品の企画開発も合わせて行う。

事務局は坂城町大字坂城6362-1 創業支援施設B.Iプラザさかき10号室、電話0268-81-7066。

宮本会長が日本建築士連合会長に就任

(社)日本建築士連合会は平成14年5月の通常総会で、宮本忠長氏(信州名匠会会長)を新会長に選出した。任期は平成14～15年度の2年間。宮本氏は前(社)長野県建築士会会長(昭和62年～平成13年の7期14年)、日本建築家協会副会長を平成10年から1期12年、平成10年から同連合会副会長を務めている。

訃報 ご冥福をお祈りいたします

7月25日 島田安雄氏(須崎市・島田工務店)

9月 8日 岩井英一氏(小布施町・岩井工業株)

●新会員紹介(平成14年6月以降、平成14年12月現在。敬称略) 職種★氏名★会社名★住所★TEL

個人会員○家具★内山保★朝陽工芸(有)★〒381-0003長野市穂保492-20北部工業団地★026-295-50883

○写真★吉田雅彦★(有)スタジオスペースツウ★〒380-0935長野市中御所2-13-3★026-227-9311

賛助会員○型枠★若林雅彦★若林工務店(有)★〒387-0023更埴市大字八幡5998-2★026-272-1454